

硫酸・H₂SO₄

保護具	中毒が発生した時の応急措置	取扱上の注意事項	生ずるおそれのある疾患の種類及び症状
<p>○適切な呼吸器保護具（送気マスク、空気呼吸器、酸素呼吸器）適切な保護手袋（ネオプレン製）、適切な眼の保護具（化学飛沫用ゴーグル）、適切な顔面保護具、適切な保護衣（ネオプレン製又は全体スーツ等の不透水性の防具）を着用すること。</p>	<p>○飲み込んだ場合：直ちに医師に連絡すること。口をすすぐ。無理に吐かせないこと。</p> <p>○眼に入った場合：できるだけ早く、流水で10分間洗浄する。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外し、洗浄を続けること。酸の残留物をできるだけ早く、完全に除去するために、穏やかなジェット水流を直接眼に当てる。搬送中も洗浄を続けること。医師の診察、手当を受けること。</p> <p>○皮膚に付着した場合：汚染された衣服を脱がせる。皮膚に付着した部分を流水で10分間洗浄する。水と接触すると酸は激しく反応し、大量の熱が発生するため、できるだけ速やかに、乾いた布またはティッシュペーパー（次善の策）で濃硫酸をしみこませる。その後、大量の水（強い噴流水や大量のシャワー）で皮膚を洗う。医師の診察、手当を受けること。</p> <p>○吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸困難な場合は半座位の姿勢で酸素吸入させる。できるだけ早くグルココルチコイド吸入スプレーを繰り返し深呼吸させる。呼吸停止の場合は人工呼吸を行う。医師の診察、手当を受けること。</p>	<p>○取り扱い場所の近くに洗眼及び身体洗浄のための設備を設ける。</p> <p>○作業場所には換気設備を設置する。</p> <p>○容器を開けたままにしない。飛沫を避ける。</p> <p>○水または有機液体と混合する場合、濃硫酸を攪拌しながらゆっくりと加え、必要であれば冷却する。</p> <p>○皮膚や眼への接触を避ける。接触した場合は洗浄する。</p> <p>○蒸気またはミストの吸入を避ける。</p> <p>○休憩前や作業終了時には石鹼と水で皮膚を洗い、洗浄後は脂肪分の多いスキンケア製品を塗布する。</p> <p>○この製品の使用時には飲食、喫煙は禁止。</p>	<p>○金属腐食のおそれ</p> <p>○吸入すると生命に危険（鼻、喉の焼けるような痛み、くしゃみ、胸の狭さ、肋骨下の痛み、咳（血）、呼吸困難、咽頭痙攣の危険、声門浮腫、肺の機能障害・損傷）</p> <p>○重篤な皮膚の葉傷（熱傷のように急速に現れる腐食性損傷↓最初は白化、その後茶色から黒色の変化、後に潰瘍、化膿性炎症）</p> <p>○眼の損傷（痛み、眼瞼痙攣、角膜の永久的な混濁と潰瘍、眼球消失の危険性）</p> <p>○呼吸器の障害</p> <p>○長期又は反復ばく露による呼吸器の障害</p> <p>○水生生物に有害</p> <p>○長期継続的影響により水生生物に強い毒性</p> <p>○経口摂取・粘膜の有機性化学熱傷、化学熱傷の結果としての心臓・循環系への急性反応（虚脱、ショック、心停止）、食堂・胃への穿孔の危険、全身的には腎機能障害、肝臓障害の可能性、数週間後にも後遺症の可能性（特に消化器系の狭窄と狭窄）</p>